

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 新年のご挨拶
02. 公開セミナーのご案内、かつしか生活習慣病セミナーのご案内
03. 第二回認知症ネットワーク研究会開催のご案内、
葛飾医療センター医療連携フォーラム開催(ご報告)
04. 地下鉄駅構内で人命救助～消防総監感謝状～
自衛消防訓練審査会が実施されました、編集後記

新年のご挨拶



院長 伊藤 洋

葛飾医療センターはリニューアルから2年が経過しました。これまで大過なく運営できましたのも皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、葛飾医療センターでは、現在、別館棟建築計画が進められています。用途として放射線治療を再開し、手術療法、化学療法を合わせたがんの集学的治療に注力いたします。また、大学病院として教育実習施設の整備・拡充を行います。計画では今年6月に着工、平成27年4月竣工の予定ですが、放射線治療は竣工年度内の開始を目途とします。

葛飾区では、昨年、新小岩地区に病院を誘致し事業者も決定しました。これにより区内の医療提供体制は一層充実することになりますが、それぞれの医療機関が機能分化し連携することで医療資源の投入効果が最大化することができます。

葛飾医療センターは、患者さん志向で顔の見える医療・福祉連携を通してこれからも地域完結型の医療を推進してまいります。

新年あけましておめでとうございます。

団塊の世代が75歳以上になる2025年、俗にいう2025年問題まであと10年となり、厚生労働省は「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。医療・介護・福祉・保健、それぞれの立場で取り組むべき課題が山積しており、看護の領域でも最近の話題は専ら「地域連携・退院支援・在宅療養支援」です。

当院は2012年のリニューアルを期に「入退院・医療連携センター」を設置し、「PFM(Patient Flow Management)システム」を構築して地域連携や退院支援に取り組んできました。このPFMシステムは、入院から退院後につながる患者支援を意味していますが、少しずつ成果も見え始め確かな手応えも実感できるようになりました。他施設から「PFMシステム」を視学研修しに来られる方も多くなりましたが、そこで何より驚かれるのが地域との連携の良さです。これも一重に退院後を支えて下さる医療機関や介護施設、訪問看護ステーションの皆様のおかげと感謝申し上げます。

地域包括システムの中で急性期病院が果たすべき役割は「治す医療」と「支える医療」の両方だと考えます。この二つの医療を充実させられるよう看護部も努力してまいりますので、今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。



看護部長 五味 美春

一般向け

公開セミナーのご案内

1. 日時：平成25年2月8日(土) 14:00～15:30(開場13:30～)
2. 会場：慈恵医大葛飾医療センター 5階 講堂
3. テーマ：「脳卒中のお話～ならないために、なった時のために～」
4. 司会：脳神経外科 診療部長 赤崎 安晴
5. 挨拶：葛飾区医師会会長 石川 辰雄
6. 演者・演題：
 - 1) 脳神経外科 診療医員 荒井 隆雄「脳卒中ってどんな病気？」
 - 2) 看護部 主任 高橋 理恵「今日からできる血管イキイキ生活」
7. 後援：(社)葛飾区医師会／後援・協賛：葛飾区、慈恵医大同窓会
8. 参加費：無料
9. 定員：先着150名

※定員を満した時点で受付終了となります

当日は整理券を先着順に配付致します。配布は12時より5階講堂受付にて行ないます

かつしか生活習慣病セミナーのご案内

平成25年10月18日、当センター講堂で「第一回かつしか生活習慣病セミナー」を開催致しました。

登録医医療機関の先生やコメディカルの方々を中心としたセミナーで、17名の出席を頂きました。

今回は一部、循環器内科 角田聖子先生から「心電図QRS幅の臨床的意義」、二部、糖尿病・代謝・内分泌内科 石澤将先生から「糖尿病診療のポイント」について、ご講演いただきました。

内容は基礎診療から最近の話題と活発な質疑応答がありました。継続して出席していただくと「かつしか生活習慣病専門医、専門士」を認定し、認定証の発行を考えております。

今回は平成26年4月を予定しております。詳細は決定次第、別途ご案内をさせていただきます。内科だけでなく、内科以外の専門の先生方の出席を期待しております。(入退院・医療連携センター)



医療従事者向け

第二回認知症ネットワーク研究会開催のご案内

1. 日時：平成26年1月24日(金) 19:00～20:30
2. 会場：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター5F講堂
3. ご挨拶：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 院長 伊藤 洋 先生
葛飾区医師会 いなば内科クリニック 院長 稲葉 敏 先生
4. 基調講演：演題「BPSDに対応する向精神薬使用ガイドラインについて」
演者：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 精神神経科診療部長 山寺 亘 先生
座長：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 総合内科診療部長 根本 昌実 先生
5. 特別講演：演題「認知症診療における薬物療法を考える
～中核症状と周辺症状に薬剤をどのように使用したらよいか?～」
演者：社会医療法人財団親和会八千代病院
認知症疾患医療センターセンター長 川畑 信也 先生
座長：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科診療部長 鈴木 正彦 先生
6. 参加費：無料
7. 定員：50名 ※医療従事者向けの研究会となります。
一般の方は入場できませんので、ご注意ください。



葛飾医療センター 医療連携フォーラム開催(ご報告)

葛飾医療センターは患者さんの紹介や医療に関する講演会を通じて、地域の医療機関(診療所や病院)との連携を行っています。この医療における連携を強化する目的で、平成25年11月9日(土)に、「慈恵医大葛飾医療センター 医療連携フォーラム2013」を開催し、地域の医療機関の方々に多数ご参加頂きました。ご参加頂きました皆さまにはこの場をお借りしまして、あらためて御礼申し上げます。

パネリストに、葛飾区医師会会長・石川循環器クリニック院長の石川辰雄先生、いなば内科クリニック院長の稲葉敏先生、いずみ記念病院リハビリ統括部長の高田耕太郎先生の3名をお招きし、「地域医療を考える」をテーマに、それぞれの視点から医師会・外来診療・在宅診療・回復期病院の医療連携への取り組みについてご講演を頂きました。

ご講演後、各パネリストへの質疑応答が、院内外から100名近くご出席頂いた参加者から活発に行われ、予定時刻を過ぎるほど多くの意見交換が出来ました。

第二部の懇親会では当センターの各診療科診療部長の挨拶があり、ご参加頂いた先生方と懇親を深めました。

普段は電話や紹介状でしか連絡をとれない先生方と直接会って話す機会を得て、「顔の見える医療連携の推進」を図ることが出来ました。

この医療連携フォーラムは次年度以降も開催予定です。さらに充実したフォーラムになるよう企画して参りますので、今後ともよろしくご願ひ致します。(入退院・医療連携センター)



地下鉄駅構内で人命救助 ～消防総監感謝状～

葛飾医療センター循環器内科診療医員の香山洋介医師に、平成25年9月25日東京消防庁より、救命救助による消防総監感謝状が贈られました。

香山医師は平成25年9月17日朝の通勤途中、都営浅草線中延駅構内で心肺停止状態に陥っていた13歳の女子学生に対し、衆人環視の中AEDを含めた適切な救命処置を行い、近隣の大学病院まで心肺蘇生を行いながら救急搬送を行いました。香山医師の迅速かつ適切な処置・判断により、女子学生は一命を取り留めました。その後、救急搬送先の病院における低体温療法を含めた治療も功を奏し、約1ヶ月後に女子学生は後遺症を全く残さず独歩での退院となりました。

消防庁は今回の事例を模範的な救命蘇生例として、地域の救急救命活動運動で取り上げています。

今回の感謝状授与にあたり、葛飾医療センター伊藤洋院長より、厳しい状況の中積極的に人命救助を行ったその行動は、医療に携わる他の教職員のみならず一市民として模範であるとの言葉が添えられました。



自衛消防訓練審査会が実施されました

平成25年10月22日(火)葛飾区新小岩公園において、本田消防署主催の自衛消防訓練審査会が開催され行われました。葛飾医療センターからは、桐生雅也さん(画像診断部)、吉田優菜さん(業務課)が自衛消防隊員として参加しました。

結果は、優勝者とわずか1ポイント差の2位入賞を果たしました。業務の合間をぬって日々努力した結果だと思えます。今後も審査会の経験を活かし、防火防災活動に取り組んで参ります。(管理課)



編集後記

葛飾医療センターに生まれかわり、3年目を迎えます。

今回は、フォーラム・研究会・セミナー等の活動をご紹介致しました。当センターのポリシーの1つである「地域に開かれた病院」として、地域の先生方と顔の見える連携を図り、地域の皆さまには健康増進や疾病予防の情報提供に努め、地域の医療発展にこれからも尽力致します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。